

北里大学病院を受診された患者さん・ご家族の方へ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (整理番号)	整形外科疾患患者における骨粗鬆症関連障害のリスク因子の検討(B25-092)
当院の研究責任者 (所属・職位)	医学部整形外科学・診療准教授 宮城 正行
他の研究機関 および 各施設の研究責任者	なし
本研究の概要・背景・目的	<p>現在日本では高齢化が進行しており、2040年には国民の約35%が65歳以上となると推計されています。高齢化に伴い骨粗鬆症患者数は増加し、骨折による日常生活における活動度や生活の質の低下が生じ平均寿命と健康寿命の差が広がっていくことが懸念され、さらには生命予後自体の悪化も社会的課題となっています。特に脊椎骨折は再骨折や腰曲がり、呼吸機能低下、足の麻痺など二次的な健康障害を引き起こし、高齢者の日常生活を大きく妨げることが知られています。このような骨粗鬆症に関連した様々な障害は骨密度の低下だけでなく、腰曲がりの進行、筋力・筋量低下、栄養障害、血液検査の異常など多因子が複合的に関与しており、包括的な評価が必要です。</p> <p>本研究は、日常診療で得られる患者背景(年齢、性別、握力等)、骨密度、レントゲン検査で得られる情報、血液検査結果、筋肉量など各種体組成測定、薬剤治療歴を統合的に解析し、骨粗鬆症に関連した様々な障害の危険因子を明らかにすることで高齢化が進行する日本における国民の皆さんの健康寿命の獲得に寄与することを目指します。</p> <p>本研究の目的は患者さんの背景(年齢、性別、握力等)、骨密度、レントゲン検査で得られる情報、血液検査結果、筋肉量など各種体組成測定、薬剤治療歴の相互関係を明らかにし、骨粗鬆症に関連する様々な障害の危険因子を検討することです。</p>
調査データ 該当期間	2015年4月1日～2025年3月31日
対象となる患者さん	上記期間内に北里大学病院整形外科外来を受診し骨密度検査をうけた方
研究の方法 (使用する試料等)	<p>利用する情報</p> <p>2015年4月1日から2025年3月31日までの電子カルテに記載のある診療記録、画像データ、検査データ、体組成データを利用します。</p>
試料・情報の 他の研究機関への 提供および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
利用又は提供を開始 する予定日	利用又は提供開始予定日： 研究機関の長の許可日から

個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際にも患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究の遂行のための費用は整形外科学医局研究費を使用いたします。研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け適切に管理されます。
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</p> <p>所属・職位：北里大学医学部整形外科学・助教 担当者：横関雄司（ヨコゼキユウジ） 電話：042-778-8111</p>